

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立諏訪小学校の結果

～分析から見てきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	城東区
学 校 名	大阪市立諏訪小学校
学 校 長 名	康 貴 利

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立諏訪小学校では、第6学年 102名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立諏訪小学校の結果概要

- ・国語科、算数科ともに平均正答率は、昨年度に引き続き大阪市平均や全国平均を上回った。子ども・教職員のがんばりが結果によく反映されている。
- ・平均無解答率については、国語は全国平均よりも良く、算数は全国平均よりも悪い結果となった。大阪市平均と比べると、どちらも悪い結果になっているので、回答困難な問題に対しても、あきらめず問題に取り組むことが課題となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

全国平均と比較すると、「話すこと・聞くこと」の領域では平均を上回り、「書くこと」「読むこと」の領域では平均を下回った。相手に伝わるように、話の中心が明確になるような話の構成を考えるような問題に対する正答率が高い。しかしながら、目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみるような問題に対する正答率は低い。

【算数】

全国平均と比較すると、「数と計算」「図形」「データの活用」の領域では平均を上回り、「測定」「変化と関係」の領域では平均を下回った。立方体の体積を求めたり、グラフから割合を見つけ出すような基本的な問題についての正答率は全国平均と比べ高いが、2量の関係について考えるような問題についての正答率は全国平均と比べ低い。

質問調査より

- ・「朝食を食べる」「決まった時刻に寝る」の項目に対して肯定的な回答が大阪市平均・全国平均と比べて高い。また、人の役に立ちたいと考えている児童の割合が多い。
- ・教科に関しては、国語科・算数科ともに、「好き」「どちらかといえば好き」と考えている児童の割合は大阪市平均・全国平均よりも低い。

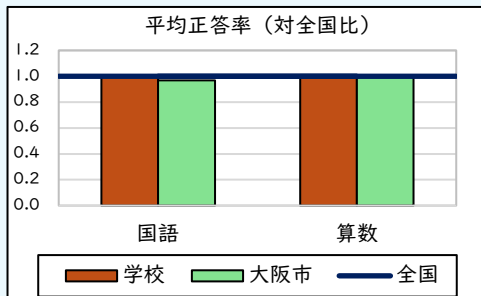
今後の取組（アクションプラン）

- ・国語科においては、文章から必要なものを見つけ出していくような学習を意識して取り入れていくようにしたい。また、引用して、自分の考えが伝わるように書くような学習も取り入れていくようにしたい。
- ・算数科においては、2量の関係を読み取るような「単位量当たりの大きさ」の学習や割合の学習について復習するような時間を設定していきたい。自分の考えを図、言葉、式等で表す活動は、これからも継続していきたい。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

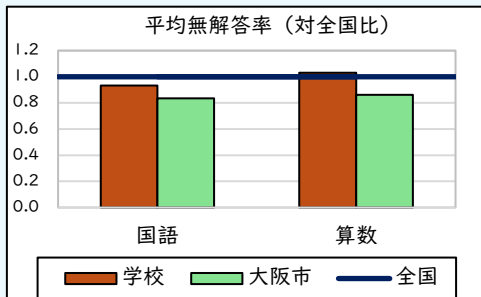
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61	57
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



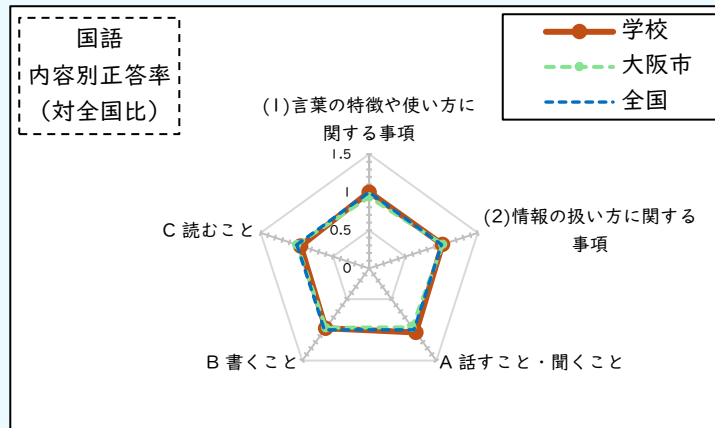
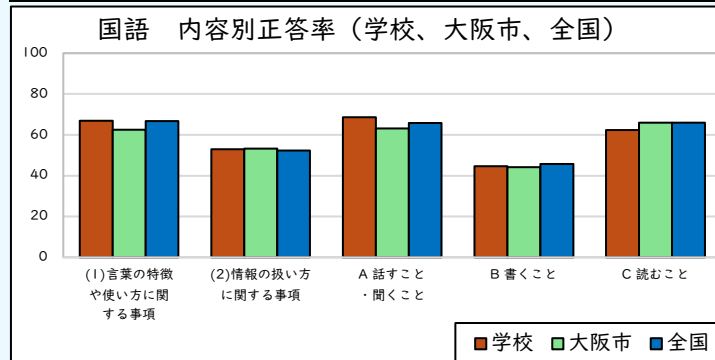
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.2	3.3
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



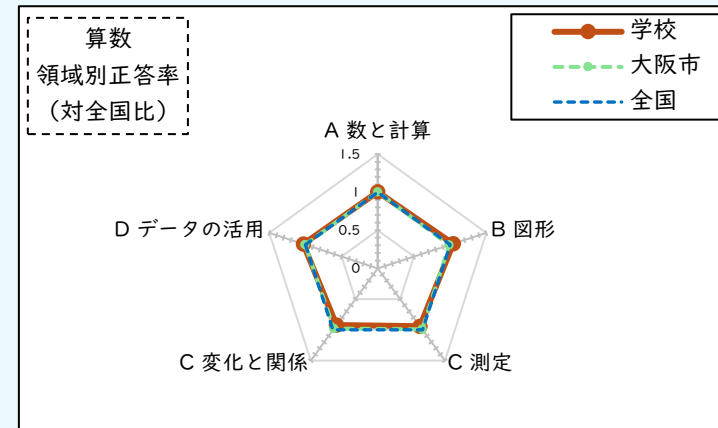
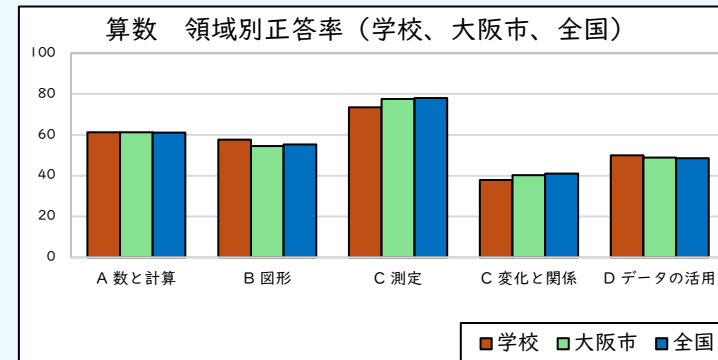
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	66.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	52.9	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	68.6	63.1	65.8
B 書くこと	2	44.6	44.2	45.7
C 読むこと	2	62.3	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	61.3	61.2	61.1
B 図形	4	57.6	54.5	55.3
C 測定	1	73.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	37.9	40.3	41.1
D データの活用	4	50.0	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

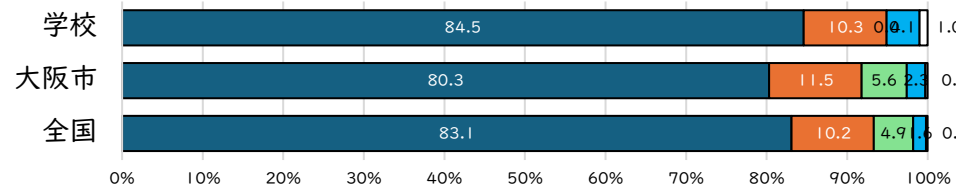
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

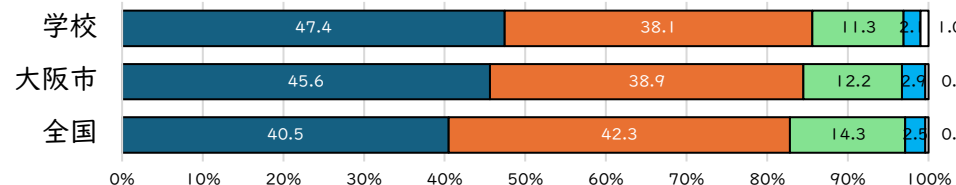
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(1) 朝食を毎日食べていますか



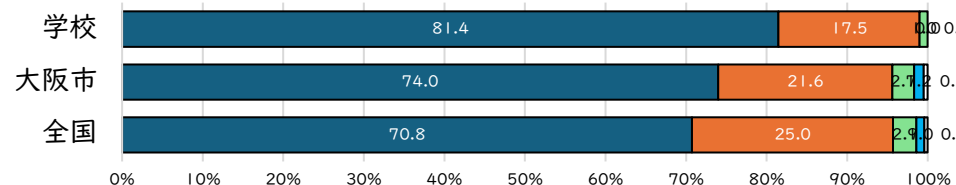
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



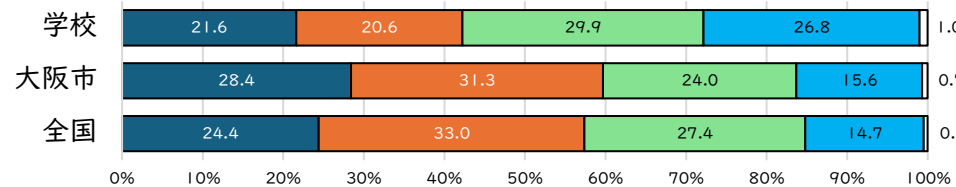
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(14) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



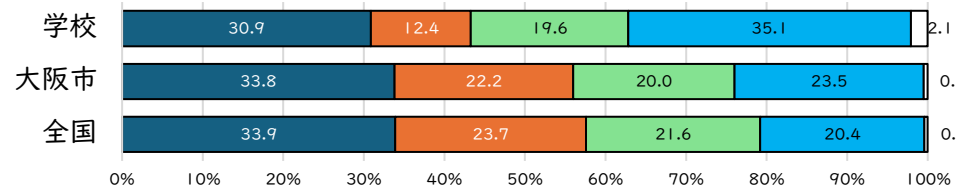
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(53) 国語の勉強は好きですか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(61) 算数の勉強は好きですか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない